

あおぞら

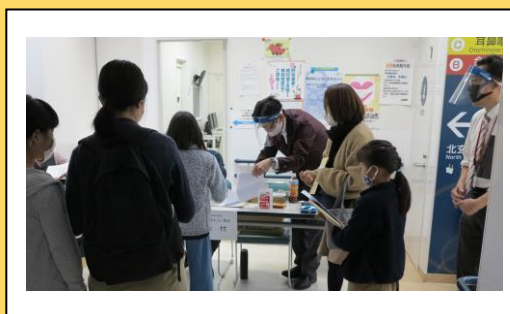
発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸3-2-1
愛知県東大手庁舎1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993



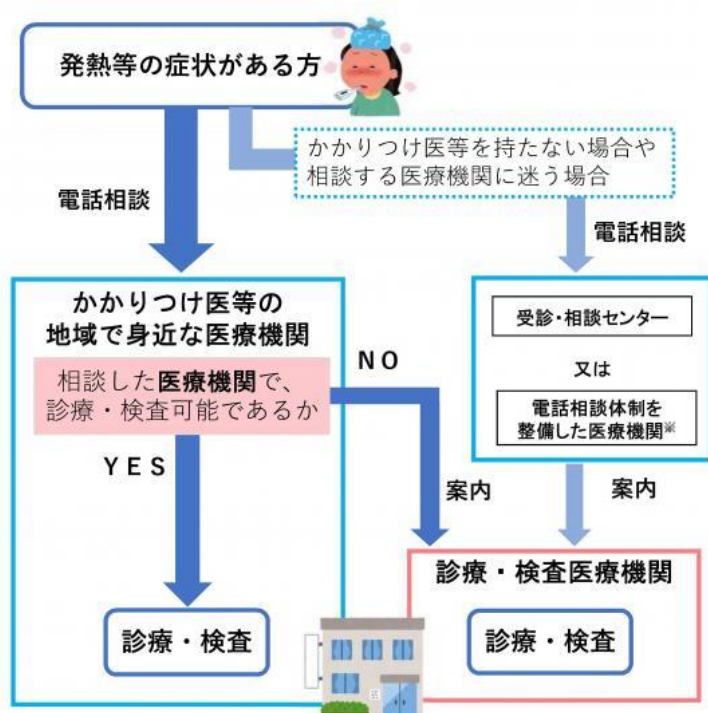
「ふれあいひろば小牧」小牧山城散策



「甲状腺エコー検診&交流相談会」(北病院)



発熱患者等の外来診療フロー図



＜愛知県 HP より＞

＊ご家庭の保存版として、このフロー図と「受診・相談センター及び電話相談体制を整備した医療機関一覧」を同封しています。

＜もくじ＞

- P1. 写真:交流会、発熱患者等の外来診療フロー図
- P2. 「ふれあいひろば小牧」、西尾さんの柿採り(飛島村)、金城学院大ゼミ生報告
- P3. 「甲状腺エコー検診&交流相談会」
- P4. インタビュー、イベント情報、編集後記

ふれあいひろば小牧交流会 11/1(日)

(於：小牧市総合福祉施設ふれあいセンター)

参加者は、避難者 4 世帯と小牧市のボランティア、社協、センタースタッフの計 19 名。今回の会場は大会議室で、コロナ対策をしながら交流し、いつもの昼食作りは取りやめて、新企画は小牧山城への散策(表紙写真)。

参加者からは、「ベテランのボランティアガイドによる説明が愉快で、楽しいひと時でした」との声が聞かれました。



飛島村・西尾さんの柿採り 11/7(土)



毎年秋、西尾元治さんのご自宅でのお楽しみ「柿採り」に、8 世帯 22 名、総勢 30 名の参加でした。

西尾さんのご家族や近所の伊藤善文さんと交流しながら、たくさんの柿が収穫できました。お土産に、伊藤さんの野菜も合わせてたくさんいただきました。

金城学院大学・ゼミ学生の研究報告/ギャラリー展示「硝子の中の福島～フィルターなきリアル～」

11/9(月)、金城学院大学(名古屋市守山区)国際情報学科の三年生(磯野ゼミ 9 期生)が、東日本大震災・地震・津波・原発事故の被害を受けた福島県を対象に行ってきた研究発表があり、「マスコミ論」の授業のゲストとして参加しました。コロナ対策で、大教室での講義でした。

ゼミ生たちは福島県を訪れ、自分の足で歩き、自分の目で見て、被災した多くの人々から聞き取りしたことをまとめ、『硝子の中の福島～フィルターなきリアル～』と題して、一年生を対象に発表しました。また、現地の写真を展示したギャラリーでも、各学生が自分の見てきたことを説明しました。学生たちはセンターの交流会にもボランティア参加し、避難者の方々のお話を聞いてまとめています。(編集委員 戸村)



甲状腺エコー検診&交流相談会 11/15(日)

【エコー検診】

コロナ禍の下、民医連による甲状腺エコー検診が北医療生協・北病院で行われ、受付から感染防止対策をしながらエコー検査、医師による診断へと進みました。

検診の参加者:12 世帯 37 名

その後、病院に隣接するすまいるハートビル・ワイワイルームでの交流相談会へと移動しました。

【学習会】

オンラインでもつないで、「災害看護講座」(日赤豊田看護大・河村諒先生)と「甲状腺学習会」(名南病院小児科医・吉岡モモ先生)を行いました。(*学習会の内容は録画があります。見たい方はセンターにご連絡ください)

【交流相談会】

ボランティア参加の学生とおしゃべりしたり、在宅保健師、臨床心理士、司法書士の専門と相談ができたり、いやし



コーナーでは鈴村ユカリさん担当のハーブとアロマの「手浴」で心身とも温まりました。

交流相談会参加者:11 世帯 31 名



【参加者の声】

コロナ禍の中、感染症対策をしながら開催していただき、ありがとうございました／わからないことが聞けたのですごく良かったです(初参加)／子どものエコー検診を見ながら先生が説明して下さったので、とても分かりやすかったです。過去の様子をファイリングして下さっているので、去年と比べてどうかという点もちゃんと聞いて安心です／丁寧に診ていただきありがとうございました。定期的に検診していただけるので安心します／今回は甲状腺検査が初めてという技師さんが入られたこともあり、検査後の負担感が大きかったので、子どもにはなるべく少ない負担で受けて欲しいと思いました。とはいえ、医療関係者の皆様には感謝しています／今後も参加したいです／アロマの手浴がすごく



うれしかったです。子どもたちにもとても良かったです／久しぶりに会えてうれしかったです。



インタビュー 関根真奈美さん

前日が立冬だったとは思えないような温かく静かな日曜日の午後、郡山市から避難してこられた関根真奈美さんに、紅葉が始まった西区の庄内緑地公園でお話を伺いました。

＜聞き手：「あおぞら」編集ボランティア 富田祥子＞

☆動物の “預かりボランティア”

関根さんは、家族の一員になって一ヶ月だという愛犬の「純太君」と一緒にした。「純太君」は 4 匹目の犬で、その前の「勝君」の話も。なぜお会いして最初の話が犬？

実は関根さんは、動物の保護団体「Dog Rescue HUG～SAKURASAKU(ドッグレスキューハグ サクラサク)」の“預かりボランティア”をされています。“預かりボランティア”は、命をつなぐための架け橋です。傷ついた子たち(犬を「子たち」と言われる関根さんの優しさは半端じゃありません)を預かり、栄養のある食事や避妊などをして体調を整え、愛情を注いで、新しい飼い主さんを探します。関根さんの元のお仕事はペットの美容師・トリマーなので、その子たちをきれいにし、病院でノミの薬をもらい、腫瘍の手術をして、元気にする為のあらゆる手段をつくられます。だから付き合う時間は短くても、一匹ごとの思い出がいっぱいです。そして、引取れる方が見つかり、家に行き条件が整っているかどうかを確かめてから犬を託されるそうです。条件が整わないまま引き渡すと虐待に繋がる場合もあるのだとか。



☆お子さんたちがヤキモチをやかれる事も!!

関根さんはお子さんが二人。5 年生と 2 年生のお嬢さんのお母さんです。お子さんたちはお母さんが大変な仕事をしているという事はわかっているけど、時には「私の事もかまってよ」と…。「子どもを甘やかす事も大事なので、上手にバランスを取りながら頑張ります」「子どもの良さを見つける事が、自分の為にもなります」と話されました。



☆関根さんのお仕事は？

関根さんは名古屋市西区の社会福祉法人で、障がいがある方などの生活支援をしておられます。「利用者さんが穏やかに生活できるように見守り、その人の良さを見つけて、生き生きと生活できるように、そして将来を考えると、社会性を身につけて欲しい」「皆と一緒にやるのが難しい利用者さんも、今の姿を受け止め、それぞれの個性を大事にして良いところを見つけない」と話されました。

最近、関根さんは職場での取り組みを発表する機会があったそうで、一步一步経験を積み重ねて、ご自身の自信につながっていったように見受けられ、たくましさも感じられました。

【イベント情報】詳しくは定期便に同封のチラシをご覧ください。

開催日	イベント名	内容（主催など）	会場
12/9(水) 10:00～11:00	あおぞらカフェ 「ハーブの手浴」	ハーブ・カレンデュラの「手浴」で体を温めます。共催:支援センター・あおぞらカフェ実行委員	(オンライン開催)

《編集後記》

- ・読み返す 11 月に 詠んだ歌 あ～出来悪い でも 3000 首 (T.H)
- ・東山公園のそばを歩いたら、フクロテナガザルのケイジ君が呼んでたよ、「遊びに来て」って!?(T.K)